

台東育英

No. 8

台東区立台東育英小学校

統括校長



努力の先に見えてくるもの

統括校長

秋の風が心地よく感じられる季節になりました。校庭の木々も少しずつ色づき、子供たちの表情からも充実した毎日になっていることが感じられます。

それぞれの学年・学級で、一学期から積み重ねてきた努力が、少しずつ形になって表れてくる時期です。先日は、運動会を通して、子供たちが仲間と力を合わせ頑張る姿をお見せすることができ、大変に嬉しく思いました。

さて、バルセロナにある世界遺産「サグラダ・ファミリア」は、140年以上たった今も完成に向けて建設が続いています。その主任彫刻家 外尾悦郎さんをご存じの方も多くいらっしゃるのだと思います。先日、その外尾さんのお話を伺う機会をいただき、深く感銘を受けました。日本から単身バルセロナへ渡り、47年間という長い年月を芸術と向き合いながら、一つの道を究めようとされている方です。外尾さんはこう語られました。「努力の先には、必ず何かが見えてくる。けれども、見えるようになるまでに、時間がかかる。」

この言葉は、今の子供たちの姿と重なります。台東育英小学校の子供たちも、まさにその「見えるようになるまでの時間」の中で学んでいます。算数の問題がなかなか解けなかったり、運動会で思うような結果が出なかったりすることもあります。しかし、諦めずに続けているうちに、ふと「できた」「わかった」と感じる瞬間があります。その小さな達成感が、次への大きな力になります。努力は、目に見える成果だけでは測れないものだと思います。見える結果がすぐに出なくとも、その過程の中で確実に学びは積み重なっています。外尾さんが、長い時間をかけて自分の手で形をつくりあげていく姿は、まさに子供たちの学びの姿そのものです。

私たち大人は、子供たちに今すぐ結果を求めるのではなく、未来に花開く力を信じて見守ることが役割かもしれません。保護者や地域の皆様からいただく温かい励ましが、子供たちの努力を支えています。まさに未来への共同作業です。

サグラダ・ファミリアが、世代を超えて少しずつ完成に近づいているように、保護者や地域の方々と共に歩む台東育英小学校の教育も、長い時間をかけて形をつくっていくものです。これからも「努力の先に見えてくるもの」を信じて、子供たちの歩みを温かく見守ってまいりたいと思います。



世界遺産サグラダ・ファミリア完成図

ICT 機器活用の取り組み

ICT 担当

台東区 GIGA スクール構想におけるインフラ整備として台東育英小学校では、台東区から支給されている一人一台タブレットを様々な場面で活用しています。

学びポケットの発表ノートを用いた学習や、カメラ機能、インターネットを用いた調べ学習など、授業時に使っています。また、学びポケットの電子連絡板の活用、休日や長期休暇を利用した e ライブラリの活用等も挙げられます。最近では電子図書館なども使用できるようになりました。

他にも、以前は体調不良や都合によりお休みした場合、お電話などで学校に確認する必要がありましたが、本校で取り入れている連絡帳としての、学びポケットの電子連絡板では、WEB 上で担任からの連絡を確認することができます。

慣れてきた一方で、誤った使い方をしている様子も見られます。学習に関係ないことに使ったり、長い時間使ったりすることもあるようです。効果的に学習で、タブレット端末を活用できるよう指導しています。正しく使用すれば、大変便利なものですが、適切な判断ができないと、思わぬトラブルに巻き込まれることもあります。ご家庭でも、お声掛けのご協力をお願い致します。



算数少人数の学習について

算数少人数担当

3年生から6年生の算数の授業は、習熟度別などの少人数に分かれて、行っています。普段とは違う集団で学び合い、意見を交わしながら学習することができます。学習内容によっては、算数を苦手だと考える児童もいます。おそらく、計算のスピードや点数が目に見えてわかりやすいため、自分の中で「できない」と感じ、苦手意識が生まれてしまう児童、授業中に周りの人が沢山手を挙げているとプレッシャーを感じてしまう児童、わかっている間違えていたらどうしよう不安になってしまい、発表できなかったり、自信がなくなってしまうたりして、いつのまにか苦手と感じてしまうのかもしれない。

少人数学習にすることで、1クラスで行うより人数が減り、活躍の場が増え自信がついたり、不安な単元もじっくりと時間をかけ、取り組んだりすることができます。どんな問題を解きたいクラスでは、発展問題に取り組むなどして、応用的な問題への問題解決能力が伸びていきます。

算数の楽しさ、おもしろさは、考え方、解き方が沢山あることだと思います。図や表、絵を使ったり、言葉で説明してみたりと、一つではないため、友達と比べ合ってみたり、自分の考えをみんなに説明したりなど、楽しいことがたくさんあると思います。今まで苦戦していた問題が解けると、大きな達成感も得られます。一人一人が算数の醍醐味、面白さを見つけて、一人でも多くの児童が算数のことを好きになってほしいです。

算数は積み重ねが大切な科目です。1、2年生の頃からの積み重ねが3年生以降の算数に大いに役立ちます。ご家庭でも、お声掛けしてくださるとありがたいです。